

岩戸町会だより

令和7年第2号
発行
岩戸町会
編集
岩戸町会広報

2026年4月スタート！ 自転車ルールが大きく変わります。

通勤・通学・お買い物など、私たちの暮らしに身近な自転車。来年4月からは自転車利用のルールが一段と強化され、違反行為に対して反則金を科す制度が導入される予定です。今回の改正の主なポイントには以下の通りです。

まず、従来、軽車両として「指導・警告」にとどまっていた自転車の交通違反に対して、いわゆる「青切符（交通反則通告制度）」が適用されることになりました。対象となるのは16歳以上の利用で、信号無視・一時停止無視・歩道通行違反・右側通行・無灯火・傘差し運転・スマートフォン操作（「ながらスマホ」）など、日常的に見られる違反行為が挙げられています。

例えば「ながらスマホ」での運転は、6カ月以下の拘禁または10万円以下の罰金、あるいは交通の

危険を生じさせた場合には1年以下の拘禁または30万円以下の罰金となるなど、かなり厳しいものです。さらに、反則金の目安として、「携帯電話使用（ながらスマホ）12000円」「信号無視6000円」「無灯火5000円」「傘差し運転5000円」「並走禁止3000円」といった金額が報じられています。

自転車は車道を原則左側走行、夜間はライト点灯、歩道を走る場合は歩行者優先など、基本ルールも改めて確認が必要です。

暮らしの足としての自転車をこれまでどおり安心・安全に使い続けるためにも、こうした制度改正を「自分ごと」と捉えて、ルール・マナーの見直しをしていただければと思います。



地域の交通安全を守る。岩戸交通部

岩戸町会交通部では、地域の皆様が“安心して歩ける町”“安心して自転車を利用できる町”をめざして、日頃から町内の見守り巡回や危険箇所の点検、通学・通勤時間帯の安全確認などに取り組んでいます。また、町会の行事や地域イベントでは、来場者の誘導や交通整理、周辺道路の安全確保に従事し、事故防止のための重要な役割を担っています。

こうした活動に加え、来春の道路交通法改正を踏まえ、町会主催で「交通安全セミナー」の開催も予定しています。調布警察署と連携し、自転車の安全利用や違反防止について専門スタッフから学べる機会を設けます。改正前のこのタイミングに、ぜひ多くの皆様にご参加いただき、一緒に地域の交通安全意識を高めていければと思います。



防犯カメラ増設

本年度も、都や市の助成金を活用し新たに南3丁目地域と北4丁目地域の2箇所に防犯カメラを増設し、地域の見守りを拡充しました。あわせて、保証期限を迎えていた既存の3台についても更新作業を行い、より鮮明で信頼性の高い映像が得られるようになりました。今後、地域の安心・安全のため、防犯カメラの増設、更新に努めてまいります。




いわどハロウィン仮装まつり

11月3日、「いわどハロウィン仮装まつり」が5年ぶりに開催されました。コロナ禍を経てようやく再開できたこともあり、当日は岩戸地域センターにたくさんのおもたちゃご家族が集まり、大変にぎやかなイベントとなりました。今回は、従来の“町内を巡るスタイル”から企画を一新し、岩

戸地域センター3階の町会会議室に、大きなハロウィンポスターを複数設置した撮影ブースを用意。カボチャやゴースト、ネオンサイン調の鮮やかな背景の前で、子どもたちは自慢の仮装姿で楽しそうにポーズを決め、ご家族がスマートフォンで撮影する姿があちこちで見られました。写真映える空間づくりはとても好評で、「思い出に残る一枚が撮れた」と喜びの声をいただきました。また1階の消防倉庫前では、消防部とのコラボレーション企画を実施。ハロウィン仕様に仮装した消防隊員との撮影や、新型消防車への乗車体験、ホースやライトの操作体験など、子どもたちの興味を引くプログラムが盛り込まれ、終始笑顔がふれるブースとなりました。消防車の赤い車体をバックにした記念撮影は、

イベン
トのハ
イライ
トのひ
とつと
なりま
した。
さら
に、幼



児から小
学生まで
のお子様
限定で60
名にお菓
子を配布
し、こち
らも多く
の子ども
たちに喜
ばれました。



久しぶりの開催にも関わらず、町会会員の皆さま、入会予定のご家族の方など、多くの地域住民にご参加いただき、地域のつながりを再認識できる貴重な1日となりました。

今後、地域の子どもたちが安心して楽しめるイベントを企画してまいります。ご参加くださった皆さま、ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

一 中地区 第36回スポレク大会


環境文化部

11月29日（土）、澄んだ青空のもと、第36回スポーツレクリエーション大会が狛江第二中学校で開催されました。本年度は岩戸町会

が幹事を担当。土曜日開催で参加状況が心配されましたが、会場には幅広い世代の地域住民が集まり、和やかな雰囲気になまれながら1日を楽しましました。

本大会は、岩戸町会・駒井町会・猪方町会・銀行町親和会の4町会が、二中地区地域スポーツ大会実行委員会として輪番で幹事を務める伝統行事で、幹事以外の町会もサポート役として運営に協力しています。競技はパンポン、グラインドボーリング、バードゴルフ、ティーパーティング、ティールボール、輪投げ、マジックダーツ、ボッチャ、体力測定など、多彩な種目を用意。子どもから大人まで世代を問わず楽しめる内容で、各競技に挑戦する姿には笑顔があふれていました。締めくくりは、地域ごとに競う紅白玉入れとパン掴み競争。歓声が飛び交い、参加者同士が自然と声を掛け合うなど、温かな交流が広がりました。

大会終了後



には市内で朝採れた新鮮な野菜が参加者全員に配られ、「立派でうれしい」と好評。手にした野菜を嬉しそうに持ち帰る姿が印象的でした。



弔慰金・出産祝い金の申請について

今年の参加者は合計267名
(未成年64名、成人104名、関
係者99名)。

事由発生から6ヵ月以内に申請
が町会事務所に届くように、各班
長もしくは、理事まで提出を、お
願ひします。また、岩戸町会会員
と同一世帯の人が対象となります。
毎週日曜日13:00～16:00が開
所日となります。

尚12月28日は、年末のため閉所
となります。年明けの開所は、1
月11日となります。

岩戸町会だより

岩戸おもちゃ病院オープン

11月9日(日)、岩戸地域センター3階・町会大会議室で「岩戸おもちゃ病院」が開院しました。壊れたおもちゃを持つ親子が集まり、修理体験を通して“物を大切にする心”を学ぶ温かなイベントとなりました。

『思い出をもう一度動かす日』

「おもちゃ病院」とは、壊れてしまったおもちゃを“おもちゃドクター”が診断し、もう一度遊べるように修理してくれる“おもちゃの病院”です。使い捨てが当たり前になりつつある現代ですが、「おばあちゃんに買ってもらった大切なおもちゃを直したい」「小さなころから遊んできた思い出のおもちゃを何とか復活させたい」



という気持ちを持つ方は、今も多くいらつしやいます。こうした思いに寄り添うため、狛江おもちゃドクターの皆さんのご協力のもと、「岩戸おもちゃ病院」を開院しました。

当日は、思い出の詰まった壊れたおもちゃを手に、たくさん親子連れが来院。今回は“診てもらっただけ”ではなく、「直し方を知りたい」という保護者の声に応え、親子で一緒におもちゃの修理を体験できるワークショップも同時開催しました。おもちゃドクターの皆さんは一人ひとりに丁寧な声をかけ、優しく診断。親子で挑戦する修理体験では、工具の使い方や部品の仕組みを教わりながら、

壊れた部分を直す工程を楽しむ姿が見られました。会場は終始、笑顔と温かな雰囲気にもまれていました。参加した保護者からは「また遊べるようになって本当に嬉しい」「物を大切にする気持ちを子どもが学べた」といった声が寄せられました。

今回のおもちゃ病院は、壊れたものを直す喜びを分かち合うとともに、おもちゃをきっかけに地域の交流が生まれる、心温まるイベントとなりました。

ご参加いただいた皆さま、そしてご協力いただいたおもちゃドクターの皆さまに心より感謝申し上げます。

総務部

岩戸町会は12月28～30日

歳末特別警戒を実施します。

年末年始は、

現金を狙ったひったくりや空き巣などの侵入犯罪、特殊詐欺の被害が多発することが予想されます。また生活の繁忙期に加え季節柄



火器を使用する機会が多くなり、火災発生の危険性が増大します。岩戸町会管内では、狛江市防犯協会岩戸支部・防犯部、防災部、狛江市消防団第5分団・消防部が警戒を実施します。

町会デジタル化の取り組みと、町会ホームページ開設 公式LINE登録のお願い

昨年度より、岩戸町会では「デジタルとアナログを融合した町会づくり」を目標に掲げ、情報発信の強化に向けた取り組みを進めてきました。コロナ禍を経てスマートフォンが幅広い年代に浸透し、日々の暮らしの中でデジタル情報に触れる機会が増えたことを背景に、町会としてもよりスムーズでわかりやすい情報提供を目指しています。

その取り組みの一環として、今年6月には町会公式LINEアカウントを開設、さらに12月には町会ホームページ(www.iwadochoukai.jp)を公開しました。町会ニュース、イベント案内、防災情報などを、従来の紙媒体に加えてデジタルで

岩戸町会だより

も発信することで、より多くの方に迅速に情報を届けられる体制が整いつつあります。

現在、公式LINEアカウントには約600世帯が登録しており、登録者からは「携帯で町会情報を確認できて便利」「掲示板はあまり見ない、近くにないので助かる」「木下大サーカスの無料チケットの情報を知って、孫と行ってきました」など、喜びの声を多くいただいています。地域のちよつとした情報や、子ども向けイベント、防災・防犯情報など、生活に役立つ内容をタイムリーに受け取れる点が高く評価されています。

しかし、岩戸町会は約3000世帯が加入する大きな組織であり、現在の登録率はまだ2割程度にとどまっています。町会としては、より多くの皆さまに登録していただくことで、情報共有のスピードを高め、町会活動をより身近で参加しやすいものになりたいと考えています。



町会ホームページQR

今後、紙媒体（町会だより・町会ニュース・掲示板）とデジタル発信（LINE・ホームページ）を併用しながら、誰もが取りこぼされることなく情報を受け取れる体制を整えていきます。ぜひこの機会に、町会公式LINEのご登録をお願いいたします。岩戸町会は、これからも皆さまとともに、より安心で住みよい地域づくりを進めてまいります。

悪質商法にだまされないために

11月23日（日祝）、岩戸地域センターにて「悪質商法撃退」をテーマにした防犯セミナーを開催し、約30名の町内の皆さんにご参加いただきました。近年は「振り込め詐欺」という言葉に代わり「特殊詐欺」と呼ばれる手口が多様化・巧妙化しています。高齢者をねらった還付金詐欺や投資詐欺、訪問販売や電話勧誘による悪質商法など、全国では年間約700億円を超える被害が出ていると言われています。一度お金をだまし取られてしまうと、弁護士が入っても回収できないケースが多く、「被害に遭わないこと」が最大の防御である、というお話が印象的でした。

当日は、消費生活相談員として活躍されている鈴木先生を講師にお迎えし、まずは悪質商法の実態



や被害の多いケースについて解説していただきました。つづいて、参加者同士でグループを作り、寸劇仕立ての事例紹介やカードを使ったクイズに挑戦。「訪問販売」「点検商法」「クーリング・オフ」「送りつけ商法（ネガティブ・オプション）」などのキーワードを、楽しく学びながら身近な問題として考える時間となりました。

また、「健康」「お金」「孤独」という高齢者の三つの不安につけ込む商法や、屋根や給湯器の“無料点検”をきっかけに高額な工事

契約を迫る手口、インターネット通販や偽サイト、トイレ・鍵トラブルなどのレスキューサービスで高額請求事例なども、具体的に紹介されました。

もし「おかしいな」「自分だけでは判断できない」と感じたら、ひとりで抱え込まず、まずは家族やご近所に相談し、あわせて消費生活センターに早めに連絡することが大切です。狛江市にお住まいの方は、狛江市役所内の消費生活相談窓口で相談ができます（市役所代表電話から相談窓口につながります）。また、全国共通の消費者ホットライン「188（いやや!）」に電話をすると、お住まいの地域の消費生活センターを案内してもらえます。

防犯部

